



## CONTENTS

2016年度 聖句

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、  
あなたがたも人にしなさい」

(マタイによる福音書第7章12節)



学校法人和泉短期大学 2017年度事業計画	2
造形遊び 21年の歴史	3
創立60周年記念コンサート	5
退任あいさつ	6

# 学校法人和泉短期大学 2017年度事業計画

理事長 深町 正信



昨年度は学校法人和泉短期大学が設立され創立60周年記念の年でありました。創立記念式典、祝賀会、記念コンサート等を催し、多くの大学、学校関係者、地域の方々、関係機関の代表にご参加を頂くことが出来たことは誠に意義深く、また、感謝の年でもありました。

和泉短期大学は全国でも稀な児童福祉学科を設置する単科短期大学です。また、一年制の専攻科介護福祉専攻を設置しています。昨年度、学長のもとで、専攻科を今後どのようにするかを検討して頂きましたが、

当前、現状のまま継続することに決定しました。現在、和泉短期大学の建学の精神であるキリスト教信仰に基づく人格の形成とキリスト教教育の理念に基づいて教育された卒業生たちの多くが、神奈川県下の社会福祉施設、保育園、幼稚園、認定こども園等で良い働きをしています

が、今年度もより質の高い保育者、介護福祉士の養成を目指して、教職員が一致して、一層、真摯に努力をしてゆく覚悟であります。

幸いにも、現在、本学の卒業生たちが神奈川県下を中心として各地で良い働きをなし、活躍されているので、そのお陰もあり、本学の卒業生の就職率は昨年同様、例年のように、良好であり、ほぼ100%でありました。しかし、昨今の全国にある大学、短期大学の卒業生の就職傾向が高く、全国平均から見ても、就職後3年以内の離職者が最も多いとされていますが、この傾向が本学の卒業生にもみられることは今後の課題の一つであると考え、その対応を真剣に検討しているところであります。

入学者について言えば、入学定員超過率の厳格化により2017年度は一般的傾向として三大都市圏の有力私立大学が約7,800人の入学定員増を行ったため、これまでは大学に不合格であった者が4年制大学に多く進学することになり、その結果として、全国的に、短期大学が受験者、合格者の両方を大幅に減らす大きな要因とされ

ています。2017年度の和泉短期大学の入学予定者は、開学以来はじめて入学定員(250名)を満了することが出来ませんでした。

このことは本学校法人の財務状況(経常収入)の90%を学生からの学納金によっている本法人の学校会計を考えると、今年度は出来るだけ支出の無駄を省き、予算を出来るだけ重点項目に振り分けて、慎重に執行する必要があらうと思われま

更に、和泉短期大学のキャンパスの集中化計画は、現在の校舎を中心に新たに周辺の土地を購入しなければならぬので、その時には第2号基本金引当特定資産を用いて、新たな土地を購入して、その実現を慎重に取り組んでゆきたいです。

導のもとに、健全な大学運営に心掛けてゆきたいと願っています。更に、昨年度から実施してきた学長のリーダーシップを一層、確立するために、コンプライアンス(規則の遵守)とガバナンス(統治、管理)とを深化させることを願っています。その上で、和泉短期大学がますます三つのポリシー(1)アドミッション・ポリシー、(2)ディプロマ・ポリシー、(3)カリキュラム・ポリシー、が有機的に関わり合いながら、地域を一層元気づけ、職業と結びついた、より充実した教育、研究共同体とするためになお一層の真摯な努力を積み重ねてまいりたいと強く願っています。

本年度から小規模ながらも「子ども保育研究室」の種蒔き、年一回、啓蒙的な「研

究誌」、パンフレットを発売して、日本の社会、地域社会に少しでも具体的に貢献することが出来るようにするための準備を開始することとしたいです。

また、大学の監査の在り方が従来の会計監査を中心とする監査に加えて、新たに業務監査にも力を入れることを求められているので、先ずは、本学でも、本年度から1名の非常勤の業務監査役を置くこととしたいです。更に、これからの大学、短期大学は、予測可能な未来社会であり、特に、技術の急激な変化に対応するため、IT機器を最低限の操作の出来る人材の養成を求められています。本学としても最低限IT操作の出来る育成のために、アクティブラーニングの学びを、今年度から数年かけて、そのための環境の整備に少しずつ努めてゆきたいです。

今年度も、週1回催される「学内運営協議会」で、出来るだけ迅速に、しかし、慎重に学内の諸問題を共有し、その解決を共にはかってゆき、よりよい和泉短期大学の形成運営に当たり、風通しの良い、和泉短期大学の経営、運営を計って参りたいと願っています。

## 聖書のことば

宗教部長 片山 知子 教授



主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。(イザヤ書 四十章三十二節)

聖書から好きな言葉一つを選ぶのは難しい、というのが正直な気持ちです。子ども時代に聖書に出会ってから半世紀以上が経ちます。あらためて振り返ると、その折々に心に留めておきたいと思う聖書の言葉(聖句)がありました。子どもらしい感性で最初に覚えた聖句、学生時代の体力気力があつた時も悩みを持っていた時に励まされた聖句、人生の大きな節目に向き合った時に示された聖句などです。それぞれの聖句を読むと、その頃

の自分が良くも悪くも思ひ出されます。

ところが聖書は読み返すごとに同じ聖句であっても、その時の私に対して新しい言葉として語りかけてくる不思議な書物です。

さて、イザヤのこの言葉は今の私が出会った好きな聖句の一つです。日々の歩みの中にあつて思い通りに事が運ぶ時は素直に喜び、一方そうでない結果が出たときは悲しみ落胆します。このような不安定な人生を生きる私たちは、現実を直視せず、自分の力で何事も出来るかのような思いに捉われていることがあります。しかしこの聖句は私たちに、主に望みをおく人であることを前提に語ります。その条件があつてこそ、新たな力を得、鷲のように翼を張って上ることが出来る。私たちが何のためにどのような生きるのか、この人生の問いをゆつくり解くことが出来るよう、この聖句に親しみたいと思う今の私です。

## 21年間の造形遊び、楽しかった活動

大石洋次郎 非常勤講師

ここ数年、どの様な形で「造形遊び」を終了にする事がベストなのか、考える時間が多くなりました。「造形遊び」を履修している学生の、授業にかかわれる時間がだんだん減っていく中、中途半端な形で終わらせたくないと思いつつ、私にとって学生との活動は、けっこう楽しくこなせてきました。

この21年間、つらい事や苦しい事を楽しさに変化させる、熱パワーがある事もありました。個人個人の主張だけが先行し、薄っぺらい公演になった年もありました。使用出来ていた教室が半分になり、それまでの活動が出来ず、みんなで悩んだ年もありました。でもいつもいつも、先輩達は時間の許す限り、見に来ていただきました。

和泉での学園祭公演、ファイナル公演、相模白ゆり幼稚園公演、ホームカミングデイ公演、老人ホームこもれび公演、共和小学校公演、松ヶ丘園祭り公演、グリーンヒル相模原公演、十日市場こども園クリスマス公演、相模原市各地の児童館、公民館公演、台東区根岸の大きな保育園に依頼され、大型バスをチャーターしていただき、入れるだけの大道具、小道具、衣装をのせ、総勢40名で公演をさせてもらっ



2010年度ファイナル公演



2015年度ファイナル公演

た事も、とても楽しい思い出です。電撃チヨモランマ隊も、5年間つきあってくれました。スミ・エミライブは15年以上続きましたし、スミのメンバーによるジャズライブもやりました。電撃チヨモランマ隊を含めた5〜6チームのイベントも、前夜祭で大盛況でした。デザイナーの加藤さんも、10年以上、造形遊びDVD制作に仲間として参加し、すてきな作品を作っていました。



橋本みなみ (都立町田総合高等学校)

入学前教育を受講して、入学してからさらに頑張らなければならぬと今まで以上に思いました。

決まりその後あまり勉強していませんでした。課題などをやってみると自分の出来ないことややらなければならぬことがよくわかりました。また、入学後も課題がたくさんあると聞き不安だったので、コツコツと溜めずにやっていた自分の時間も作れ、好きなことができるという先輩方のお話を聞いて頑張ろうと思えました。



鈴木 胡桃 (私立麻布大学付属高等学校)

入学前教育を受講し、私は将来の自分について色々と考えてきつかけになりました。

「在學生・卒業生メッセージ」では、実際に幼稚園などで働いている先輩方からアドバイスや、大切なことは何かなどを聞くことができ、私が働く時に活かしたいと思えました。

「情報リテラシーシート、ポートフォリオ説明」では、今の私には難易度が高いと感じましたが、苦手なことを克服できれば将来の自信につながると思いました。これからの学校生活を楽しみながら、2年後、今よりも成長した姿で卒業できるように何事にも全力で取り組んでいきたいです。



本学 千葉仁非常勤講師によるパイプオルガン演奏、本学卒業生により結成された「ハンドベル・クワイア」15名によるハンドベル演奏も行われました。ハンドベル・クワイアの卒業生は、遠くはデンマーク、沖縄からも参加していたいただきました。荘厳な印象の曲から「ホワイトクリスマス」や「ジングルベル」などの演奏もあり、来場されたお子様も楽しめる、1時間半のコンサートとなりました。



### 創立60周年記念コンサート

2016年12月17日(土)学校法人和泉短期大学・和泉クラークホールにて、創立60周年記念コンサートを開催致しました。本コンサートは、創立60周年を迎えた本学の60周年の事業の一環として、また、地域の皆様との歩みに感謝を捧げる機会として行いました。

相模原市中央区区長 小山秋彦氏に、祝辞を承り開始した本コンサートに、来賓の方々をはじめ地域の皆様など、延べ160名のご参加をいただきました。

### TOPICS

#### クリスマスイベント

「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」を建学の精神に掲げる和泉短期大学。救い主イエスキリストのご降誕を祝うためクリスマス待つ4週間「アドベント：待降節」にて、さまざまなイベントが行われました。

#### ●クリスマスツリー点火祭 11月28日(月)

憩いの広場のモミの木を囲んで学生と教職員だけでなく地域の方にもおいでいただく中、ベルの音の合図で始まりました。学生チャペル委員が司会を担当し、聖歌隊とハンドベルクワイアの賛美、聖書朗読、祈り、そして参加者一同で歌う讃美歌が夜空に響きます。そしてクリスマスツリーに一斉に灯りがともる時、その感動を味わうことができました。



#### ●はっぴいクリスマスコンサート 12月10日(土)

和泉クラーク・ホールにおいて、子育てひろば「はっぴい」のクリスマスコンサートを開催しました。はっぴい参加親子20家族56名と、入学前教育プログラムのひとつとして来年度入学予定者95名、地域の多くのご家族にもご来場いただきました。学生による絵本「きよしこのよる」の読み聞かせ、「ハンドベル」履修学生によるハンドベル演奏、本学オルガニスト石井三枝子先生によるパイプオルガン演奏、学生聖歌隊による賛美など盛りだくさんの内容でご来場の皆さまに楽しんでいただくことができました。参加されたお子様たちには、サンタクロースからプレゼントが贈られました。



#### ●クリスマスフェア 12月14日(水)

朝から冷たい雨の中でフェアは始まりました。1号館自販機前には無料ドリンク200杯に並ぶ元気な学生達の長い列ができました。フェアの目玉の100円ランチ「モッツァレラチキンマルゲリータプレート」&「カレーライス」はあっという間に完売しました。いずれのメニューにも可愛いミニケーキが付いていて、ケーキを求めて購入する学生もいました。学生の笑顔があふれるランチタイムとなり、いつしか雨もやんでいました。



#### ●クリスマス礼拝 12月19日(月)

和泉クラーク・ホールにおいて、本学学生および教職員が一堂に会し、救いの主イエスキリストのご降誕を祝うクリスマス礼拝が行われました。橋本教会の須田 拓牧師をお招きして「神共にいますしるし」と題して説教をしていただきました。礼拝では、ハンドベル履修生によるハンドベルや学生聖歌隊の賛美も行われました。



### 卒業生の活躍 (第15回)

横須賀市児童相談所 児童福祉司(2005年3月卒業) 中村 圭輔さん

児童相談所という言葉を耳にして、皆さんはどんなことを思い浮かべますか。昨今の様々な事件の影響もあり、児童虐待を思い浮かべる方も少なくないでしょう。では、皆さんは児童虐待という言葉からはどんなことを思い浮かべますか。児童相談所は、子どもが心身ともに健やかに育つことを目的とし、養護・障害・非行・育成・その他の相談に応じています。そして、多くの相談の中でも児童虐待は非難の対象になりがち

です。しかし、非難しているだけでは子どもの健やかな育ちには繋がりません。その背景にあるものに思いを馳せ理解することが、その第一歩だと私は考えます。

そもそも、私は好き好んで児童虐待をしている人と出会ったことがありません。もともと全ての家庭には子どもの健やかな育ちを支える可能性が備わっていて、何らかの事情でそれが発揮されることがなかっただけではないでしょうか。非難するのではなく理解すること、発揮されることのない可能性に光をあてることはできないでしょうか。それが和泉での学びを私なりに実践という形にしたものです。

和泉で学びを深めた人たちが様々な形で子どもの育ちに関わることで、和泉短期大学のスクールモットーである「愛と奉仕」が子どもの健やかな育ちを支える大きな柱となることを祈っております。

#### 北里大学協働プロジェクト「こども体験イベント アクアリウム」

北里大学・和泉短期大学協働事業「こども体験イベント ここに魚が?! 遊び場が?! ~作って、遊んで、見て、知って~」が、2016年12月11日(日)、ユニコムプラザさがみはら(ポニー相模大野)で行われ、会場は子どもたちの歓声と熱気に包まれました。魅力あふれる6種類のコーナーが設けられ、多くの来場者(758名)でにぎわいました。



#### 第2回和泉プレカレッジ

2016年12月17日(土)、相模原市内の保育者を目指す高校1、2年生34名を対象とした公開セミナー「和泉プレカレッジ」が開催されました。鈴木敏彦教授による「子どもへの虐待をなくそう! 児童虐待の防止と保育者の役割」と、及川静非常勤講師による「子どもの食事ーミルクから幼児のお弁当まで」の2つの講座を受講いただきました。



#### 「造形遊び」履修学生による第21回公演開催

2016年12月3日(土)「造形遊び」<選択科目>を履修する2年生10名、1年生5名による第21回ファイナル公演が行われました。今回は2つのチームに分かれ、学生達は「全員が主役」という気持ちで取り組んでいました。「一人ぼっちのおオカミ」では、友達の入る勇気と、ひとりじゃないよ、というメッセージが、「オズの魔法使いーanotherー」では人の話を聞くことの大切さというメッセージがそれぞれ込められた公演でした。今年も多くの卒業生や関係者、在校生が駆けつけ、21期造形遊びの集大成となる公演を鑑賞しました。公演後には、本学卒業生でプロのジャズシンガーとして活躍中のスミ☆アヤコさん、Nakamura Emiさんのライブコンサートが開催され、大勢の観衆が魅了されました。最後に、21年間「造形遊び」の授業を担当していただき、熱く指導していただいた大石洋次郎非常勤講師に、履修学生からサプライズソングが贈られ、ファイナル公演に相応しい盛り上がりを見せました。



### 学修奨励奨学金、保育士修学資金貸付事業

2016年度前期学修奨励奨学金(給付型)奨学生

- 2年 阿部 苑佳/山代恵里佳
- 1年 根岸 遼/杉崎 陽菜
- 池田みさと/大谷 美琴
- 和田詩桜美/富樫 紅実
- 橋本 玲菜

2016年度横浜市保育士修学資金貸付事業

- 2年 金星 真梨/小林 紗也
- 大月 優果/小野 瑞花
- 向 夏子

2016年度神奈川県保育士修学資金貸付事業

- 2年 古藤 夏子/赤津 彩華

2016年度川崎市保育士修学資金貸付事業

- 2年 山本 充華



## 2016年度「創立60周年記念事業募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年に東京都世田谷区中町でバット博士記念養成所を開設し、同年5月現任訓練講習会が開催されたことに始まり、2016年5月で創立60周年を迎えました。教育の充実を図り、学修環境整備、施設維持整備を目的に、「創立60周年記念事業募金」を行うことになりました。皆様には出費多難の折と存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ●募金対象事業

- 1) 創立60周年記念事業 2) 学修環境整備  
3) 1号館外壁・鉄部塗装工事 4) その他、関連箇所整備

### ●募金目標金額

1億円

### ●募金募集期間 2016年5月～2017年3月

寄付者一覧(敬称略) <2016年11月1日～2017年1月31日>

【特別寄付金】井上 容子/遠藤 陽子/加藤 萌/河野 陽子/篠塚 和典/高田 憲子/豊福 義彦/中畑 宏幸/難波 由恵/原田 康子/  
藤本 英治/船越 靖逸/松本 さなえ/山内 常博 以上14件 180,000円

- 募金金額 1)個人 1口 5,000円  
2)法人 1口 10,000円

### ●所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)については、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### ●法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて「授配者指定寄付金」として全額損金に算入することができます。詳しくは、下記あてにご連絡ください。

### ●募金問い合わせ先

学校法人和泉短期大学 経理・施設ユニット 042-754-1133(代表)

## 読売ジャイアンツ元コーチ篠塚和典さんより本学に寄付金をいただきました

2017年1月22日(日)、本学において篠塚さんが町田市にある児童養護施設バット博士記念ホームの子どもたちのために第11回野球教室を行いました。

その際、理事長室において、篠塚さん(スマイリングパートナーズ代表)から、本学に対して寄付金を戴き、土橋事務局長が受け取りました。

この貴重な寄付金は本法人の「創立60周年記念事業募金」として使用させていただきます。



ております。  
学生時代から和泉の温かさが大好きで、卒業してからも嬉しい時や悩んだ時には教職員の皆様にお会いしたくなり、足を運びました。私にとって和泉はふるさとのように、そんなかけがえのない場所で働けることに感謝の気持ちでいっぱいです。  
学生たちと思いを共有しつつ、現場での経験を最大限に生かして、学生たちが前向きに羽ばたいていくための支援をしていきたいです。どうぞよろしくお願ひ致します。



### 新任あいさつ

実習・ボランティアセンター  
松倉 理沙

5年前に和泉を卒業し幼稚園教諭を経て、今年度の12月より実習・ボランティアセンターで実習事務として働かせて頂

らせて頂きました。  
この度、出産に向け退職する運びとなりましたが、大きなお腹を見て声をかけてくれる学生さん、お腹をさすってくれる学生さん。優しさが溢れ出る元氣な姿に、いつもパワーをもらっていました。これからも素直な気持ちを大切にして、それぞれの道で輝いて欲しいと思います。  
皆様、2年間誠にありがとうございました。これからの和泉短期大学の更なる発展を心から願っております。



### 退任あいさつ

実習・ボランティアセンター  
山口 彩香

1年目はキャリアアデヴァインセンターの保育力支援者として、2年目は実習・ボランティアセンターで学生さんの実習に携わ

### 採用

2016年12月1日付 松倉 理沙/実習・ボランティアセンター

### 退職

2016年12月21日付 山口 彩香/実習・ボランティアセンター

### 訃報



学校法人和泉短期大学 元監事、元評議員 長睦さめる先生が2017年2月10日に召天されました(享年96歳)。

ご遺族の上に、神様のお慰めと平安をお祈りいたします。

職歴 長野県東筑摩郡本城村役場 厚生主任、松本市福祉事務所 社会福祉主事、社会福祉法人慈愛園職員、社会福祉法人バタニアホーム施設長

受賞歴 東京都知事表彰状、全国社会福祉協議会会長表彰、厚生大臣表彰状、勲六等宝冠章、毎日社会福祉顕彰他

本法人経歴 本法人も24年に渡り支えていただきました。

評議員 1984年6月1日～2004年5月31日 20年(10期)

監事 2004年6月13日～2008年5月31日 4年(1期)

長睦先生は1956年に本学の起源であるバット博士記念養成所において開催された児童福祉施設従事者の質の向上を図る目的とした第1回現任訓練講習会に参加された17名のお一人でした。以来、本学と関係が深くキリスト者として、社会福祉実践者として命がけで子どもたちを愛し、尽くされた優しい先生でした。2017年2月13日 日本福音ルーテル東京教会で告別式が行われ、法人を代表して土橋正文事務局長が参列させていただきました。

■故 西田 玄氏 (はじめ) (西田恵一郎 チャプレン 准教授 御子息 2016年8月9日)

■故 伊藤 宣嗣氏 (伊藤志彦 特任教授 御令弟 2016年8月27日)

■故 奥村美恵子氏 (本学元教員 2016年10月27日)

■故 細谷 隣氏 (本学評議員 細谷政幸 御尊父 2017年1月8日)

■故 佐久間壽子氏 (佐久間志保子 准教授 御岳母 2017年2月25日)

主による平安をお祈りいたします。